

## 地域の話題

山形支部 武田 達郎

肘折温泉は私も二人で毎年四～五回、五泊で常宿に行っていますが、たまたま山形新聞に載っておりましたので地域の話題として紹介いたします。

### 【その1】

山形県最上郡大蔵村肘折温泉では、毎冬巨大雪だるま「おおくら君31世」を目当てに、県内外から多く宿泊客、観光客が集まった。今年は特に大雪に恵まれ、昨年より大きくなった「おおくら君」(高さ10.7m)の背中越しに打ちあがった花火に来場者は冬空を彩る大輪を見上げ、豪雪地帯ならではの催しを楽しんでいた。肘折地区の旅館や商店経営者でつくる実行委員会が主催し、29回目。



### 【その2】

有識者、25年全国トレンド予測「穴場温泉」に肘折(大蔵)を選出

温泉地の人気投票を企画するインターネット接続大手ビックローブは、2025年温泉トレンド予測を発表し、全国5か所の「ちょいズラし穴場温泉」に肘折温泉を選んだ。地元の山菜が並ぶ朝愛知などが評価された。選考した有識者によるとインバウンド(訪日客)拡大で温泉地がにぎわう中、混雑を避けた旅行が好まれる傾向にあるという。

約1200年の歴史を誇る肘折温泉は湯治場の面影が色濃く残る。4月下旬から11月に開かれる朝市は、山菜やキノコなどの特産品が並び、観光客から好評だという。選考に携わった温泉ビューティー研究家の石井宏子氏(東京)は「炭酸ガスを含むお湯が素晴らしく、温泉好きはぜひ行ってみたい場所と高く評価した。

穴場温泉部門は今年新設された。人気温泉地のオーバーツーリズム(観光公害)が問題となる中、ゆったりと過ごせる温泉地にも足を運んで貰う狙いがある。航空・旅行アナリストの鳥海高太郎氏(東京)は「浴衣を着て、懐かしい風景とともに写真を撮影して交流サイト(SNS)にアップすることが若い世代に人気」とし、肘折温泉も潜在力があるとみる。

肘折温泉の大友久土組合長によると、新型コロナウイルス禍後、一人旅の若者が増えているという。



穴場温泉はこのほか、みなかみ温泉（群馬県）、湯河原温泉（神奈川県）、あわら温泉（福井県）福地温泉（岐阜県）が選ばれた。

以上